

財務部の方針書

部名	財務部
部長名	伊藤 英明

1. 部の使命(ありたい姿)

市の総合計画で描くまちの将来像実現のため、財源の確保と適正な配分により、健全で持続可能な地域社会の実現を目指します。	
担当政策	政策7:横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
担当施策	7-2:財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進

2. 部の抱える課題(現状)

<ul style="list-style-type: none"> ・適正な公共サービスの在り方と公共施設の再配置の検討 ・資材高騰による建設事業費増大に対応した適正な財政運営 ・申告相談職員の確保と相談業務の効率化 ・滞納額及び滞納者数の削減と適正で効率的な債権管理による財源の確保 ・建設業界の担い手不足と労働者の高齢化による入札不調の増加
--

3. 今年度の『スローガン』

<p>市民サービスと家族サービスの両立 ～ワーク・ライフ・バランスを整え、充実した毎日を過ごそう～</p>

4. 今年度の方針

<ul style="list-style-type: none"> ・横手市財産経営推進計画(FM計画)並びに横手市公共施設個別施設計画のローリングと着実な推進 ・財源確保と適正な将来見通しによる健全財政の堅持 ・申告相談職員の確保・育成と電子化の推進による業務効率化 ・ルールに基づいた債権管理の推進と案件ごとの対応強化 ・DXを活用した契約検査事務の効率化と適正管理

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	横手市財産経営推進計画(FM計画)並びに公共施設個別施設計画のローリングと着実な推進
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の現状(利用状況、老朽化度、コスト)を把握し、経営的な視点からのローリングを実施する ・後期基本計画に向けたFM計画、個別施設計画の改定準備を進める ・公共施設マネジメントに関する理解を深める庁内向け研修やミーティング(ワークショップ)を開催し、施設の管理・活用に取り組む
(2)	実現したい成果	市民サービス向上のための財源確保と持続可能な財政運営の推進
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大型公共施設整備事業推進のため、国県等と協議しながら確実な財源確保に取り組む ・自主財源確保のため、ネーミングライツ導入、収納強化、市有財産の有効活用に積極的に取り組む ・市税等の公正な賦課徴収を進めるとともに、適正な債権管理を行うため庁内連携を強化する ・限られた経営資源の有効配分と、ビルドアンドスクラップの意識の徹底を図る
(3)	実現したい成果	DXを活用した契約検査事務の効率化と適正管理
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・電子契約の導入・運用を進める ・契約保証及び前払金申請の電子化に取り組む ・工事発注が不慣れな部門に対し契約検査事務の指導を徹底する

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

(1) 横手市財産経営推進計画(FM計画)並びに公共施設個別施設計画のローリングと着実な推進

- ・公共施設の維持管理経費、利用状況等の調査を行うとともに、前年度ローリング状況の再確認や小会議開催等を通じて適正配置に向けた現状把握を進めた。
- ・職員向け研修会と情報発信を行った。

(2) 市民サービス向上のための財源確保と持続可能な財政運営の推進

- ・ネーミングライツ導入のための庁内関係課への協力要請を行った。
- ・インターネット公売による市有財産の売り払いを行った。
- ・課税関係の減免処理をRPAで行い、作業時間の短縮に努めた。
- ・滞納整理強化のための方針を定め、全戸配布チラシを作成した。(10月配布)
- ・物価・資材の高騰、人件費の増加など、経常経費が増加傾向にあるなかで大型公共事業を実施するにあたり有利な財源確保のため国県と協議を進めた。

(3) DXを活用した契約検査事務の効率化と適正管理

- ・契約事務、契約保証、前払い申請について10月より電子化をスタートした。
- ・検査担当職員による「公共工事の監督・検査業務説明会」を7月に実施し、工事発注担当課監督員のレベルアップを図った。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

(1) 横手市財産経営推進計画(FM計画)並びに公共施設個別施設計画のローリングと着実な推進

- ・各施設の再配置方針、スケジュールの確実な実現に向けたローリングを実施する。
- ・令和8年度計画改訂に向けた問題点・考え方の整理検討を進める。

(2) 市民サービス向上のための財源確保と持続可能な財政運営の推進

- ・ネーミングライツ導入施設を決定する。
- ・インターネット公売による市有財産の売り払いを継続する。
- ・時効完成による不納欠損の件数を減らすため、徹底した財産調査等を実施し、その上で納税が極めて厳しいケースについては、執行停止等の滞納処分を行う。
- ・大型公共施設整備事業実施のための財源確保を図り、財政見通しを作成、説明し、事業実施への理解を求める。
- ・来年度当初予算編成にむけ、ビルドアンドスクラップの徹底、事業の選択と集中を徹底していく。

(3) DXを活用した契約検査事務の効率化と適正管理

- ・電子契約については、事業者からの問い合わせ等に対応できるよう課員のスキルアップを図る。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

(1) 横手市財産経営推進計画(FM計画)並びに公共施設個別施設計画のローリングと着実な推進

- ・FM小会議、事務局会議を開催し、FM計画及び個別施設計画の改訂に向けたスケジュール等を策定、推進本部会議の承認を得た。また事務局レベルでは劣化度調査の判定手法、将来更新費用推計の試算等に関する検討を行った。改訂に向け担当職員の専門性が必要となることから、研修等を通じてスキルアップを図るとともに、庁内連携を密にし進めていく必要がある。

(2) 市民サービス向上のための財源確保と持続可能な財政運営の推進

- ・施設所管課と協議のうえ、ネーミングライツ導入施設を6施設決定した。令和7年度公募を開始する。
- ・市民会館建設については一時中断の判断を行った。将来の建設開始に向け基金創設による一般財源の確保と、国の補助金、起債の活用を調査・協議し、持続可能な財政運営を進める。合わせて、物価高騰のほか人件費や社会保障関係経費などの経常経費の増加が見込まれることから、事務事業の見直し、ビルドアンドスクラップの徹底を今まで以上に組み込んでいかなければならない。

(3) DXを活用した契約検査事務の効率化と適正管理

- ・契約締結時の事業者からの問合せにも適正に対応し、導入後も効率的な契約業務を実施することができた。今後は事業者に対し、より一層の電子契約の普及啓発を図り、契約事務の正確性と効率化に努める。